

かしま 議会だより



発行／鹿島市議会 編集／議会だより編集委員会
〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



議会報告会 (平成30年11月13日)

12月定例会	P 2～P3
議案審議	P 4～P5
一般質問	P 6～P9
行政視察報告	P10～P11
議会報告会	P12～P13
議会報告会市民アンケート	P14
意見書	P15
議会あれこれ・編集後記	P16





次のことを審議し決定しました

【12月定例会】

議案番号	議案内容	杉原元博	片淵清次郎	樋口作二	中村和典	松田義太	稲富雅和	勝屋弘貞	伊東茂	松本末治	光武学	徳村博紀	福井正	松尾征子	角田一美	松尾勝利	議長	採決結果
議案第47号	鹿島市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第48号	鹿島市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
議案第49号	平成30年度鹿島市一般会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
議案第50号	平成30年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
議案第51号	平成30年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
議案第52号	平成30年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
議案第53号	平成30年度鹿島市給与管理特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
議案第54号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
議案第55号	鹿島市営土地改良事業(音成地区)の計画の変更について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
議案第56号	鹿島市生涯学習センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	同上	賛成多数 可決
議案第57号	鹿島市民図書館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	同上	賛成多数 可決
議案第58号	中村住宅の指定管理者の指定について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	同上	賛成多数 可決
議案第59号	平成30年度鹿島市一般会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
議案第60号	鹿島市教育委員会教育長の任命について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 同意
議案第61号	鹿島市監査委員の選任について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 同意
議案第62号	鹿島市固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 同意
意見書第3号	頭首工(可動堰)の維持保全に対する支援増を求める意見書(案)	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席 ※…(監査委員のため審議に参加できない)

- 平成30年 鹿島市議会
12月定例会会期日程
- 1、会期
自 平成30年11月30日
至 平成30年12月20日
- 2、日程
- 【11月】
30日 開会
・会議録署名議員の指名
・会期の決定
・議案の一括上程
(市長の提案理由説明)
- 【12月】
1日 休会
2日 休会
3日 休会 (議案研究)
4日 休会 (議案研究)
5日 休会 (議案研究)
6日 議案審議、
委員会付託、
質疑、討論、採決
7日 議案審議、
委員会付託、
質疑、討論、採決
8日 休会
9日 休会 (議案整理)
10日 休会 (議案整理)
11日 休会 (議案整理)
12日 休会 (議案整理)
13日 一般質問
14日 一般質問
15日 休会
16日 休会
17日 休会 (議案整理)
- 18日 一般質問
19日 休会 (議案整理)
20日 議案審議
・質疑、討論、採決
・閉会

議案 審議

議案 審議

議案第48号

鹿島市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の一部を改正する条例の制定について



中村 和典 議員
農業委員の定数に

ついては、今年4月1日から現行の10人から12人へ2人増員されることとなつていますが、現在1人しかいない女性農業委員を1人増員して2人へ、あと1人の増員は、若い

農業者等から選定できないか。
答弁 農業者の高齢化による離農や担い手不足の状況が続いていて、中山間地での連鎖的な遊休農地の発生が多く問題となつている。能古見地区及び七浦地区へ1人ずつ増員を図りたい。

議案第48号

鹿島市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の一部を改正する条例の制定について



福井 正 議員
農業委員会の農業委員を2人増員し、農地

利用最適化推進委員を2人減員する条例であるが、増減の理由は何か。農地面積や耕作放棄地の関係か。
答弁 中山間地で高齢化や担い手不足が、七浦地区や能古見地区で特に問

題になつている。それらの地区に農業委員を増員することで、遊休農地対策にあたつてもらう。農地利用最適化推進委員は、鹿島マイナス24戸・北鹿島マイナス24戸・能古見マイナス61戸・浜マイナス24戸・七浦マイナス52戸と、農地面積が減少したことで、施行令の定めで減員する。

議案第49号

平成30年度鹿島市一般会計補正予算(第3号)



健全な財政運営のため国・県への働きかけを

松尾 征子 議員
市債(借金)が増え続けて、積立金は減り

続けている。大型事業は増え、市民生活に直結した制度的なものはない。これから、高齢化・少子化も進み独自でやっていけないのか。国は、耳ざわりが良い事を言っているが安心して暮らせるものではない。さらに、最近、国・県の補助金が多りに少な

議案第49号

平成30年度鹿島市一般会計補正予算(第3号)



首頭工(可動堰)改修費の地元負担の軽減について

角田 一美 議員
質問一 頭首工(可動堰)改修費の地元負担割合は、どのように見直しのか。
答弁 市の負担割合を引

き上げ、その分、地元負担割合を引き下げ軽減する。今後は水系で区別せず、市70%地元30%へ見直したい。
質問二 国、県の補助率の見直し要望はしたのか。
答弁 地元農業者の負担が重いので、九州市長会でも見直しを要望している。国の考えは、私的所有権を認める以上は受益者



頭首工(可動堰)

負担ゼロは難しい。全ての補助事業に影響し、バランスが崩れる。
国内情勢の変化等を捉え、いろんな条件のもとに、今後意見を交換していく。
意見 国・県へ積極的に働きかけをしてほしい。

議案第56号

鹿島市生涯学習センターの指定管理者の指定について



勝屋 弘貞 議員

質問 現在、市民ボランティアでつくった財団がエイブルと市民会館を運営しており、来年度以降も頑張っていきたいとい

う意向だ。指定管理が決まった後に、市民会館の閉館に伴い予算が削減されるといふ後出しジャンケンみたいな事があれば、今後の財団の運営に大きく関わってくる。事務にしるホール管理にしる兼務が多いので、単純に削減するわけには

いかない。

答弁 来年度、財団が指定管理を受けるかどうかというのは今の段階では未確定だが、それに向けて、財団事務局と市の担当者で想定をし、調整をしているところだ。



議案第57号

鹿島市民図書館の指定管理者の指定について



樋口 作二 議員

質問一 鹿島市の市民図書館には、学芸員や司書補など多くの専門職が在籍しておりますが、これ

らは採用後に資格を得られたのか。
答弁 すべて、採用以前に資格を取得されています。

質問二 多くの専門職が資格を持って採用され、また学芸部を新設して鹿島市の歴史の再発掘など活動を活性化されている

が、人件費は毎年固定されたままである。指定管理料の値上げも検討すべきであると思うがいかがか。
答弁 関係部局と協議してみたい。



議案 審議

議案第59号

平成30年度鹿島市一般会計補正予算(第4号)



小中学校の空調設備について

徳村 博紀 議員
質問一 明倫小学校と北鹿島小学校は、教室に仕

切りを設けなければなら

議案第59号

平成30年度鹿島市一般会計補正予算(第4号)



小中学校の空調設備について

質問一 明倫小学校と北鹿島小学校は、教室に仕切りを設けなければなら

ない。仕切り工事の金額と、財源は市費なのか、国庫補助の対象なのか聞きたい。
答弁 仕切り工事の金額は3240万円で、全て市費である。
質問二 事業費全体が約3億8千万円。その財源内訳の多くが地方債になつている。交付税措置の

は、福利厚生などの還元を考へるべきである。
答弁 管理者指定の方法は、地域自治の振興目的には地域住民団体の自主的な管理運営が期待され、単独指名とした。今後は、指定管理施設の余剰金については有効活用の方で協議を進める。

額を除いた、国庫補助金・市債・基金繰入金・一般財源、それぞれの額を示してもらいたい。
答弁 国庫補助金が4442万円、市債が3億1180万円、基金繰入金が1700万円、一般財源が1329万9千円となつている。
また、市債に対しての交付税措置は5328万円となる。

質問一 明倫小学校と北鹿島小学校は、教室に仕切りを設けなければなら

一般質問

一般質問

鹿島市のため池の防災について



議員 正 議員

質問一 平成23年3月11日の東日本大震災は、東北地方に多大な被害があった。

平成23年6月議会でも鹿島市の堤の状態を質問した。耐震調査結果と、補修計画は怎么样了か聞きたい。

答弁 堤は42か所が調査済み。地震に対し安全基準が若干不足の西堤を平成31年度に、32年度に水梨下堤を整備予定である。

質問二 堤の管理責任はどこにあるのか。

答弁 通常管理は、受益者と地元が行う。



肥前鹿島駅前開発について

答弁 国55%、県30%、残り15%を市90%、地元10%であり、地元負担は全体の1・5%である。

質問四 管理者が少数のため池はどうか。

答弁 ため池を廃止し、替わりに水路設置もありうる。

質問五 堤や頭首工等は、農業だけでなく防災・衛生の機能もある。その観点から、市や区全体で考えられないか。

答弁 頭首工は、国県市の負担を増やす方向である。

質問一 1月6日に鹿島商工会議所から、肥前鹿島駅前開発の提言書が提出された。提言書を読まれた市長の感想を聞く。

答弁 素晴らしい発想とデザインであり、ニューディール構想の民間版といえる。事業規模や資金に疑問もあるが、評価できる構想である。

質問二 鹿島駅前の交通混雑対策について、以前駅前ロータリーを整備して車の流れをスムーズにする計画があったが、取り進むのか。

答弁 鹿島駅前開発検討委員会で検討してもらおう。

キャッシュレス購買時代への対応

質問 キャッシュレス購買は、日本ではまだ20%程度である。鹿島のキャッシュレス化の状況と、零細業者や観光地のキャッシュレス化への助成の考えがあるか聞く。

答弁 鹿島市のキャッシュレス化は、24%程度である。今後、商工会議所等と協議し、県の交付金などを活用し進めたい。

長崎本線存続の取り組みを



議員 征子 議員

質問一 九州新幹線長崎ルートについては難航している現状だ。

現在約400億円が注ぎ込まれる予定で、フル規格になればさらに200億円注ぎ込むという試算があり、さらにはいような必要経費の増減により、どこまで増えるかわからない状況にある。

鹿島市は、「市民の足、長崎本線を守ろう」と、当時の市長を筆頭に議会はもろろん市民が一丸となつてがんばつた。しかし、国や県は市民の声を聞かなかつた。これは、今私達が取り組んでいる「オスプレイ反対、原発反対」の取り組みと同じように、国民の声を聞かず強引に押しつけるやり方と全く同じ。

長崎本線の利用者は非常に多い。特に、鹿島市には近年外国からの客も増え続ける状況が続いている。長崎本線が変わつたら、市民の足を守ることはもちろんだが、海外を含め観光客が来なくなる心配もある。

今こそ「長崎本線存続」の声をあげる時だ。

答弁 20年前の話をむしろ返すのは、やめた方がよい。得策にはならない。今はJR等と話す時、「反対してしましたね」と言われなくなった。鹿島の方から反対の旗を下ろし、無条件であったのではないかと私は思っている。

答弁に対する意見 必要なら、20年前の事だつて振り返すことは必要だ。当時、鹿島から手を下ろしたのではない。無理に手を握らせられた。報道でも流されているように、新幹線にはこれ

市民が安心して暮らせる市営住宅を



議員 元博 議員

質問一 中村住宅の建設は予定通り進んでいるのか、現状何か問題点などあるのか。

答弁 今年3月の入居開始に向け、順調に工事は進み、現時点で特に問題はない。

質問二 入居希望者の募集状況について聞きたい。

答弁 募集は11月30日まで実施。入居者の決定を、12月9日抽選により完了。満室の状態では稼働できる見込みとなった。

質問三 相次ぐ災害の連続で、老朽化が激しい西峰団地の修繕の相談や対応状況を聞く。

答弁 入居者からの相談や申し出、職員による調査で、修繕等が必要な世帯や箇所は随時対応。今

方と全く同じ。長崎本線の利用者は非常に多い。特に、鹿島市には近年外国からの客も増え続ける状況が続いている。長崎本線が変わつたら、市民の足を守ることはもちろんだが、海外を含め観光客が来なくなる心配もある。

今こそ「長崎本線存続」の声をあげる時だ。

答弁 20年前の話をむしろ返すのは、やめた方がよい。得策にはならない。今はJR等と話す時、「反対してしましたね」と言われなくなった。鹿島の方から反対の旗を下ろし、無条件であったのではないかと私は思っている。

答弁に対する意見 必要なら、20年前の事だつて振り返すことは必要だ。当時、鹿島から手を下ろしたのではない。無理に手を握らせられた。報道でも流されているように、新幹線にはこれ

胃がん予防のために



開館当時の市民会館

質問一 胃がんの発生状況と対策について聞く。

答弁 男性で2番目、女性で3番目に多い。30代にピロリ菌検査、40歳以上の方を対象に胃のエックス線検査、50代の偶数年齢の方を対象に胃内視鏡検査を実施している。

質問二 ピロリ菌検査の対象年齢の拡充を求める。

答弁 40代への拡充を前提に、検討していく。

質問三 胃がんリスク検診（ABC検診）の導入について聞きたい。

答弁 がんのリスクが判断できることは、市民の皆様への予防意識を高めることにつながり、生活習慣改善のきっかけになることが期待される。導入については、前向きに検討したい。

質問四 ピロリ菌検査とABC検査費用を聞く。

答弁 ピロリ菌検査（血液検査）を単独で実施すると一人当たり1296円、ABC検査は4000円となる。

鹿島市の民俗文化について



議員 作二 議員

質問一 鹿島市の民俗文化は、どのように記録されているのか。

答弁 鹿島市史や佐賀県の民俗などの文献の中に記録され、浜町舟津、若殿分、広平地区は詳しい調査報告がある。

質問二 鹿島の方言の記録はあるか。

答弁 昭和60年に編纂された、「鹿島の方言」が残っている。

質問三 新市民会館に併設される、民俗資料館の運営方針はあるか。

答弁 企画に合った資料



大宮田尾面浮立

を、選定・展示していきたい。また、面浮立などの伝承芸能も見ることができるようになりたい。

質問四 鹿島市の伝承芸能の種類と、その記録について聞きたい。

答弁 面浮立、一声浮立、鉦浮立、獅子浮立、獅子舞、綾竹踊りが伝承されている。面浮立は、鹿島が誇る伝承芸能として、映像や音の記録も残していきたい。

質問一 マイクロプラスチック

マイクロプラスチックとESD

チェック問題とはなにか。

一般質問

一般質問

「空き家対策」について



勝屋 弘貞 議員

質問 前回問題点と上げた部分の改善、空き家数の把握はできたのか。

答弁 HPを更新し、登録物件の情報が一目で分かるようにした。

また、税務課との協力で固定資産税通知の中に、空き家バンク制度のお知らせを同封したところ、問い合わせが増加した。

空き家数に関しては、区長を通じ把握を試みたが、個人情報プライバシーの問題で、思うようにいかない状況である。10〜20%の空き家が存在すると推測するが、情報収集に努めていく。

治水対策について

質問 宅地造成に伴う農地減少による保水能力の低下を懸念するが、どうか。

答弁 雨水排水対策として、開発地内に調整池をつくり下流域に影響がないよう計画している。

大きな範囲では、土地の形状の変化に伴う保水能力も考慮し、排水計画を策定している。

近年は、ゲリラ豪雨の発生など、その対策が遅れているところもあるが、浸水実績を考慮し段階的に取り組む。

囲碁を活用した街づくりについて

質問 日本棋院鹿島支部が中心となり、様々な取り組みをしているが、高齢者が多く後継者がいないような状態だ。

後継者の育成を含めた今後の対応と、就学前の取り組みを聞きたい。



囲碁サミット2018in鹿島

答弁 祐徳本因坊戦や市の事業「ヒカルの碁」等で協力いただき、今回のサミットでも非常にお世話になった。

今後、支部の方々が当事者の組織で、第一人者としてかわってほしい、仕掛け仕組みづくりを、互いの立場で囲碁文化が途絶えないように進めていく。

サミットの中でも就学前の取り組みは非常に有効であるという紹介もあり、参考になった。

園長会等で紹介し、小さい頃から囲碁に触れるきっかけをつくり、後継者の育成に努める。

遊休農地対策について



中村 和典 議員

質問 農業委員会では、一昨年から遊休農地の解消対策として、中山間地のミカン園約30haに茶園の造成を予定される農業法人へ企業参入を進めてこられたが、どうなったのか聞きたい。

答弁 補助事業の導入に当たって、費用対効果の算定を行ったところ、基準が10以上に満たないことから、事業化は難しいとの判断がなされた。

農業団地構想について 質問一 多良岳パイロット事業は昭和56年に完了し、昭和39年の着工からはすでに半世紀が過ぎた。

遊休化した樹園地を再利用するために、1〜3ha規模の農場団地整備に



遊休地を再生した茶園

取り組みめないか。 答弁 多良岳パイロット事業地区を再整備するためには高いハードルがある。

例えば、農地法の転用規制や補助事業の二重投資の禁止等厳しい要件がある。

質問二 厳しい要件をクリアするために、TPP11対策や日欧EPA対策の地元戦略対策・要望として、国や県に働きかけができないか。

答弁 法律を改正するためには、農業保護論や私有財産の譲渡等の世論を、どう克服するかがこれからの知恵である。

イノシシ等の解体処理施設の建設について

質問一 3年前から要望があっているが、取り組み状況を聞きたい。

答弁 鹿島猟友会から、これまで2回要望書が提出された。建設予定地15箇所を選定し、用地の確保に努めてきたが、所有者や周辺から同意が得られず現在に至っている。

質問二 今後のスケジュールを聞きたい。

答弁 猟友会が鹿島市・嬉野市・太良町で構成する、広域駆除対策協議会で基本的な方針について検討をしている。

場所が決まり地元の同意が得られれば、事業主体となり建設されることになるので、補助事業の活用策など誠意をもって対応していきたい。

鹿島市の子育て支援策について



松田 義太 議員

質問一 平成31年10月1日から「幼児教育の無償化」が予定されている。

市内の保育園・幼稚園・認定こども園、保護者への説明、報告などは行われているのか。

答弁 幼児教育の無償化について、国より詳細な内容についての説明があつていないので、わかり次第、市内の施設等に報告したい。

質問二 無償化になれば園児数が増えることも考えられ、保育士等の人材確保、受け入れ体制の充実など、市内施設との連携がさらに重要と思うが担当課の見解を聞きたい。

答弁 園児数が増えるとは想定していないが、市内施設との連携等、適切

に対応したい。

質問三 放課後児童クラブの運営について。子供達が安全かつ安心して育成されるのに十分な職員体制づくりや、支援員を確保するためには、処遇の改善、研修の充実が必要ではないのか。現在、市内428名の児童が利用している。

答弁 支援員の時給等は、県内で比較しても低くはないが、今後の人材確保を考慮すれば処遇の改善等、検討していきたい。

質問四 明倫小の放課後児童クラブの運営など、学校の空き教室の活用を考えると、教育委員会と福祉課との連携は重要である。定期的な情報交換など行われているのか。

答弁 空き教室の活用等、各学校で課題があるので、連携しながら対応したい。

公共施設の総合管理計画について

質問 今後の鹿島市の財政運営を考えると、大規模事業（市民会館建設、かたらいの整備）で一定のめどをつけ、市内の公共施設（市役所庁舎の耐震）、地区公民館（災害時の避難場所）、市民体育館などの計画的な更新が必要であり、具体的な検討はなされているのか。

答弁 市内公共施設の老朽化は、喫緊な課題と認識している。平成32年度をめぐり、具体的な計画について検討していきたい。



老朽化が進む市内公共施設

久保山配水池造成工事の変更について



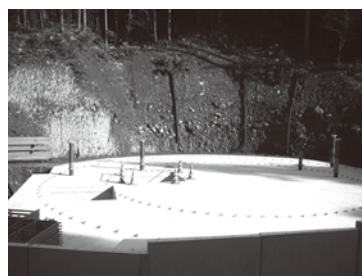
伊東 茂 議員

質問 昭和54年築造の久保山配水池は、移転計画が進められている。

しかし、基礎工事の増工により、当初予算5664万6千円から1億1571万1200円へと増額されて工事は完了している。議案審議に上程せず、予算の流用となつている理由は何か。市民の水道料金の収益から事業は進められることを考えれば、安易に工事変更は問題と考える。

答弁 予定支出の経費の金額流用については、営業費用と営業外費用は認められている。事前調査では分からなかったが、躯体基礎部の床掘りを行った結果、底盤部分を横断するように、支持岩盤

の一部がV字型に風化していることが確認され増工となった。今後は、細心の注意を払い工事を進める。



久保山配水池基礎工事

蟻尾山公園サブグラウンドの人工芝生化の要望書について

質問 昨年、鹿島市サッカー協会から鹿島市と市議会に人工芝生化の要望書と、賛同する3176人の署名が提出されている。サブグラウンドの利用状況を見ても、年間延2万4千人以上のサッカー関係者が利用している。県体での優勝、社会体育

も熱心な指導を受け、数々の成果を上げており、本市のスポーツ振興に欠かせない競技団体である。要望に対し、蟻尾山運動公園周辺の駐車場不足、使用料金の有料化への懸念など課題もあり、議会では継続審査の回答を出した。市内スポーツ環境の整備は喫緊の課題である。鹿島市の見解を問う。

答弁 昨年、サッカー協会会長に口頭で現状では難しいと伝えた。しかし、2023佐賀国体に向けて体育施設の整備は必要と考えている。今後、庁内で議論を深め、検討していく。



蟻尾山公園サブグラウンド

一般質問

文教厚生産業常任委員会 行政視察報告 平成30年 10月15日(月)～17日(水)

●10月15日(月)秋田県大仙市 小中学校における学力向上の取り組みについて

大仙市の市立小学校は21校で、児童数3,503人。同じく市立中学校は11校で、生徒数1,823人。大仙市の教育大綱は、「生きる力を育み、社会を支える創造力あふれる人づくり」である。教育方針には3つの柱がある。1つ目は、豊かな心と健康な体を育む学校づくり。2つ目は、主体的でグローバルな学びを進める学校づくり。3つ目が家庭・地域と一体となった開かれた学校づくりである。

大仙市の取り組みの成果が現れ、学力は秋田県内トップで、全国平均を大きく上回っている。成績が伸び悩む学校には、職員の入れ替えを大胆に行うなど、市と教育委員会全体での取り組みを行っている。

●10月16日(火)秋田県横手市 園芸メガ団地について

2014年から秋田県主導の総合支援対策として、秋田県50%、横手市25%、受益者25%の補助率で、県が技術を提供し農産物が競合しないように園芸メガ団地を展開している。園芸メガ団地はそれぞれ、販売額1億円を目指している。

今回現地視察した、農事組合法人「館合ファーム」では、30代の若手営農者が中心となり、雄物川ライスセンターの管理運営を軸としながら、スイカやほうれん草などの複合農業経営を行っている。



横手市 園芸メガ団地

●10月16日(火)岩手県北上市 北上市スポーツ推進計画について

北上市のスポーツ都市宣言の基本理念は、「スポーツで心と体が元気になるまち」。その理念を支えるため、3つの基本方針がある。1つ目は、スポーツによる健康づくり。2つ目は、競技力の向上に向けた選手の育成と指導者の育成。3つ目が、地域社会の活性化を図るための、スポーツによるまちづくりの推進である。

主な取り組みとして、幼児期から運動習慣を身につけさせて、青少年期は心身の健全な発育の促進を行い、成年期は健康維持を目標に、また高齢期は、健康づくりの推進と、年代ごとに方向性を定め普及促進を行っている。また、障がい者スポーツの普及促進も行い、スポーツ環境の充実を目指している。



北上市 北上総合運動公園陸上競技場

●10月17日(水)宮城県登米市 東北風土マラソン&フェスティバルについて

登米市長沼フットピア公園にて開催された、東北風土マラソン&フェスティバル2018は、第5回大会であったが、ランナーの参加者が6,800人、会場周辺への来場者は2日間で53,000人を数え、その経済波及効果は約3億円であった。

スポーツを通じた地方創生モデルとして注目を集めており、2015年度のグッドデザイン賞を受賞している。また、会場の長沼は、2020年東京オリンピックのボート競技の開催候補地にも挙がっていた。夏には、長沼の湖面全体を蓮の花が覆うとの事。コース上の東北の風土を楽しみ、東北の美味しい食「フード」を一口サイズで存分に味わうことができる。ランナー以外も楽しめるお祭りマラソンを目指している。大会の運営費は、参加費3,000円と、個人や法人サポーターの寄附で成り立っている。



登米市 長沼フットピア公園

文教厚生産業常任委員会

- 委員長 稲富 雅和 副委員長 勝屋 弘貞
委員 片淵 清次郎 樋口 作二 伊東 茂 松尾 征子 角田 一美

総務建設環境常任委員会 行政視察報告 平成30年 10月22日(月)～10月24日(水)

平成23年3月11日午後2時46分に発生した東日本大震災から7年半が経過し、政府の復興期間である平成32年度まで残り2年半となった。宮城県気仙沼市及び福島県須賀川市の復興と防災対策、さらに、岩手県久慈市の公共下水道事業に初めて採用した、デザインビルド(DB)一括発注方式の契約等について研修を行った。

●10月22日(月)宮城県気仙沼市(人口64,352人、面積332.44km²)

震災により人口1万人減少、市の予算250億円から2,500億円になった。被災の状況は死者数1,042人、行方不明215人、住宅被災棟数15,815棟、被災世帯9,500世帯。都市計画区域9.6km²をはるかに超える18.65km²が津波によって浸水被害を受けた。特徴として、危険物燃料タンク23基のうち22基が流出し、それが原因で建物火災13件が発生し2.48km²が焼失、事業所数4,593カ所のうち3,672カ所が被災、漁船約3,000隻が損壊、建物63,800棟の内26,124棟が被災。電気、ガス、水道、電話、下水道は全部復旧するのに平成23年10月7日までかかった。



震災復興計画の目標は、津波死ゼロのまちづくり、早期の産業復活と雇用の確保、職住復活と生活復興、持続発展可能な産業の再構築、スローでスマートなまちと暮らし、地域に笑顔溢れるまち。これらを目指して、土地区画整理事業、防災体制の整備、産業再生と雇用創出、地域コミュニティの充実と市民との協働などの事業を実施している。

震災後の防災対策は、1000年に一度と言われる今回のような最大クラスの津波を受け、その後の対策として、住民の避難を軸に、土地利用、避難施設の整備などソフト・ハードによる多重防御の考え方で取り組んでいる。

●10月23日(火)岩手県久慈市(人口35,642人、面積623.50km²)

公共下水道事業の早期完成を図るため、鹿島市でも検討しているデザインビルド(DB)発注方式の導入について研修。DB方式とは、設計から施工までを一括発注する方式であり、この方式で事業を施工すると事業費は約18%安くなり、工期は約1.5倍早くなると説明を受けた。

●10月24日(水)福島県須賀川市(人口77,441人、面積279.43km²)

地震発生直後、標高420mの谷間にあった藤沼湖が、100秒以上続いた地震動により堰堤(えんてい)が決壊し、150万トンの鉄砲水が下流の3集落を襲い、この濁流で22戸が流失や全壊し、死者7人、行方不明者1人の犠牲者が出た。市役所も浸水したため、体育館へ移動し業務を行った。藤沼湖は、昭和24年に造成された農業用ため池である。面積は20ha、貯水量は150万トンあり837haの農地を灌漑していた。ため池の決壊により約90haの水田や畑が泥土をかぶり耕作不可能となり、水田837haの約8割が田植えができなくなった。



須賀川市での研修

被災後「藤沼湖決壊による被災者の会」を結成。福島県、須賀川市、土地改良区、被災者の会により解決策を検討し、弔慰金及び見舞金を支払うことで合意。藤沼湖の復旧工事は平成25年10月に県営事業として着工され、今は試験湛水中で来年3月には完了予定である。

総務建設環境常任委員会

- 委員長 光武 学 副委員長 中村 和典
委員 杉原 元博 松田 義太 徳村 博紀 福井 正 松尾 勝利

かどうぜき
頭首工(可動堰)の維持保全に対する支援増を求める意見書

鹿島市内における頭首工(可動堰)は現在29ヶ所設置されており、その維持保全については、国や県の補助事業などを活用し、地元(受益者)が主体となり行なっています。

しかしながら、昭和50年代から平成の初期にかけての河川改修工事に伴い改築された頭首工(可動堰)は、10年ごとに本体の塗装が必要となるほか、築造後30年以上が経過していることから、油圧シリンダーや付属する配管からの油漏れ、取水ゲート開閉機などの故障が想定以上に発生しています。また、受益者である農家戸数が減少する中で、頭首工(可動堰)の維持保全に必要な経費は増加していることから、地元(受益者)の負担がますます大きくなっている状況にあります。

市内の頭首工(可動堰)の役割は、農業用水の取水に限らず、生活環境を潤わせる水や火災時の防火用の水などを取水する多面的機能が強く、市民が安全・安心に暮らす上で公益性の高い重要な施設となっています。

以上のことから、頭首工(可動堰)の適切な管理を推進し、増加している地元(受益者)負担の軽減を図るため、その維持保全に対する更なる支援をしていただきますよう求めます。

以上 地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成30年12月20日

鹿島市議会

佐賀県知事 山口 祥 義 様



鹿島市消防団年末警戒



出初め式

祝賀放水

市民と議会の意見交換会 市民アンケートでのご意見

30代

●防災についての議員さんの説明が、素人にも分かるように説明して下さったので良かった。

50代

●パネラーとして女性団体の代表者を交えての意見交換会をステージで実施したら、団体の動員などで女性の参加者が増えるのではないのでしょうか。

60代

●質問を受ける時間も必要だが、議員としての重要用件を強く市政に反映させたい案件を、議員個人の案件(構想)として主張して欲しい。

●議会だよりの中の視察報告は、議員個人個人受け取り方が違います。もう少し、議員個人の感想をくわしくお知らせください。

●防災に対するきめ細かな対策が、まだまだこれからだという印象が強かった。新市民会館への市民の浸透がうすいと思う。

●議員の皆さんの対応は、簡潔で分かりやすかった。質問者は、内容を整理して聞いていただきたい。

●防災の関係について説明を受け、参考になりました。

60代

●限られた時間ですが、鹿島市の地域課題である①人口減少、②少子化、③高齢化、④核家族化などについても、総合的にでも触れる必要があると思います。

●産業振興、雇用問題についても市民は関心があり、議会、各議員の考え方、スタンスも知りたいと思います。

●配布された資料も見やすく、説明も非常にわかりやすかったので、よかったですと思います。お疲れ様でした。

60代

●若い方の参加がなくて残念でした。

●この会について、市民への広報がうすかったのでは。

60代

●①防災に対する区への連絡情報を明確にする必要がある。②市民会館の駐車場がせまいので、スペースを最大限に活用してください。800席の1/3駐車スペース(最低)③災害時における避難場所(各区)を明確にする。水、トイレ、電気(発電機の設置)をどうするか。

●会場が暗く資料が見えない。

●議員さん方の、市に対する熱意がよく分かりました。市の行政と議員さんの知恵を出し合って、すばらしい町づくり推進に頑張ってほしいと思います。

70代

●ご苦労様でした。説明が多く、質問時間が少なかったと思う。

●報告会が西牟田公民館で行われておらずと質問したら、希望があった場合との答弁でした。希望とは、誰がするのか、そうではなくて、希望が西牟田区からあるなしにかかわらず、是非西牟田公民館でもやってほしい。

●色々な項目についての説明はよく分かって、勉強になった。未だ色んな面で考慮する問題が山積みする事があるので、議員さん達のご検討をよろしく。

●①今話題のふるさと納税の事は、市議会では取り上げてなかったが、鹿島は問題になっていないのでしょうか。

②中木庭ダム周辺の利用で、遊具はあるが急な雨等に対しての設備がなく安心して利用出来ないのではないのか。

③女性が少ないのも、連絡網がうまく行き届いておらず、こういう報告会はもう少し連絡徹底してほしい。

●①議員さんが上段から物申すという感じに見える。一般人が下でなく、パイプイスを囲んで、同じ目線で話したい②女性の為の、市議さんとの話し合いを開いてほしい。街中で女性の方の意見を聞きました。近いうち、報告したいと思います。まとめますと、子育てや老後のじいちゃん、ばあちゃんが楽しめるところが欲しいという意見です。

80代

●報告の時間が多く、意見交換の時間が不足したようだ。もっと概略でよいのではないのか。市議が、一般市民から意見を聞くことのできる数少ない機会だから、事前に協議してもらいたい事(要望)を出してもらっておけば、題目もしぼれるし、その意見も深まるのではないのか。報告会より、意見交換に絞った会がよくないかと思う。

80代

●空き家対策について、安全性を考慮して検討してほしい。年々長寿社会が進んでいます。高齢者にとっては、運転免許証を自主返納が進んでいます。これからは、足の確保が課題ではなからうか。

●本当に参加して良かったと思います。色々勉強になりました。また参加させていただきます。年は重ねても、目と耳をしっかりと楽しくすごしていきます。

議会あれこれ

(平成30年10月～12月)

10月

- 12日 議会だより編集委員会
- 15日～17日 文教厚生産業常任委員会行政視察
- 16日 議会報告会開催の記者会見
- 19日 議場開放・ICTプロジェクト委員協議会
佐賀県市議会正副議長会
- 22日～24日 総務建設環境常任委員会行政視察
- 22日 道路期成会3団体の要望活動(長崎県)
佐賀県後期高齢者医療広域連合議会 議案勉強会
- 23日 エイブルとの意見交換会
- 25日 議会運営委員会
- 26日 佐賀県西部広域環境組合議会10月定例会
議会だより編集委員会
- 30日 佐賀県後期高齢者医療広域連合議会 議会運営委員会
議会だより編集委員会
- 31日 白石町・太良町議会との交流会
- 31日～11月2日 定期訪韓(韓国高興郡、釜山外国語大学の訪問)

11月

- 1日 道路期成会3団体の要望活動(佐賀県)
議会報告会プロジェクト
- 2日 道路期成会3団体の要望活動(九州整備局)
議会だより編集委員会
- 5日 杵藤地区広域市町村圏組合議員全員協議会
- 6日 議会運営委員会
- 9日 議会報告会事前リハーサル
- 13日 議会運営委員会
議会報告会「市民と議員の意見交換会」
- 15日 道路期成会3団体の要望活動
(国土交通省ほか)
- 20日 全員協議会
常任委員協議会
- 22日 議会運営委員会
- 28日 議会運営委員会
- 30日 12月定例会 開会 議案の上程
(～12月20日)
全員協議会

12月

- 4日 杵藤地区広域市町村圏組合議会 全員協議会
- 6日～7日 12月定例会 議案審議 質疑、討論、採決
- 7日 議会運営委員会
- 13日～14日・18日 12月定例会 一般質問
- 14日 全員協議会
- 18日 まちづくり推進構想対策特別委員会
- 20日 全員協議会
12月定例会 議案審議、質疑、討論、採決、閉会
全員協議会
- 28日 議会だより編集委員会

行政視察受入状況

(平成30年10月～12月)

10月30日 群馬県みどり市議会 8名

11月 7日 大分県津久見市議会 6名

11月14日 宮崎県延岡市議会 2名

11月19日 福岡県大牟田市議会 9名

11月21日 広島県府中市議会 7名

議長交際費を公表します。

金額単位：円

区分	10月		11月		12月		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔慰	0	0	0	0	0	0	0	0
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝儀	1	5,000	1	3,000	1	16,200	3	24,200
会費	2	7,000	0	0	2	8,000	4	15,000
接遇	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1,400	0	0	7	21,000	8	22,400
合計	4	13,400	1	3,000	10	45,200	15	61,600

編集後記

平成最後となる、新しい年が始まりました。暮れには、平成の30年間にあった事を各TV局が放映していました。が、市民の皆様にとって鹿島市の平成はどのような時代だったのでしょうか。

さて、3月いっぱい、鹿島市のランドマーク的存在であった市民会館が、その役目を終える事になります。このタイミングで解体されることはとても感慨深く、文化的な事業の他に成人式・結婚式などの節目で、市民の皆様にとっても本場に身近な存在だったと思います。

3月31日には、市民有志で作った実行委員会が運営する催し物が企画されています。是非とも皆さんと一緒に、市民会館に感謝の気持ちを伝えられたらと思いますので、皆さんで盛り上げましょう。

【編集委員】

委員長	勝屋 弘貞
副委員長	中村 和典
委員	徳村 博紀
顧問	角田 一美

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。